

宇都宮市立城山中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	校内公開授業週間を設けて、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研修や情報交換を行う。また授業での目標や振り返りを明示して、学ぶ意欲を高めている。	「授業を集中して受けている」に肯定的に回答した生徒の割合は、1年生が88.9%、2年生が89.2%、3年生が90.3%となり、昨年度と比較するとどの学年も上昇している。
学習習慣の定着を目指す指導の工夫	「宿題プラスワン」を地域学校園での合言葉として、小学校からの継続的な取組として行っている。また、自主的な学習への取組を習慣化させて、基礎・基本の定着を図る。	「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」に肯定的に回答した生徒の割合は、1年生が62.6%、2年生が50.0%、3年生が55.9%とどの学年も市の割合を上回っているが、更なる向上を目指したい。

★市の結果を踏まえての次年度の方角性

- ・学習と生活についてのアンケートの結果を見ると、3年生の授業への取組についてはほとんどの項目で市の平均を上回っている。しかし、学力調査の正答率は、下回っているものが多い。このことから、学習しようという意欲はあるものの、学習時間を上手に活用できていない様子がうかがえる。次年度は、一人一台の端末を活用しながら、更なる授業の改善を工夫していきたい。
- ・「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」には、学年によって差はあるものの、6割ほどの生徒が肯定的に回答している。次年度も引き続き地域学校園内での共通理解を図り、家庭学習の習慣化と自主的に学習に取り組む姿勢の指導を充実させていきたい。